

保護者活動



✂️ 小学校「JoyDay」を終えて

今年のJoyDayが10月18日の第3回をもちまして無事終了いたしました。皆様方のお子様は楽しんでいただけましたでしょうか？5月10日の第1回「巨大絵」。体育館いっぱい巨大アートが出現しました。6月28日の第2回は大工仕事や工作等々の「いろいろやってみよう」。校内にいろいろな作品が出現しました。10月18

日の第3回は「コンサート」。“依田バンド”の皆様の楽しい音楽に自然と体が動きだしました。もちろんエアロピクスやダンボール遊び、コンピュータ教室と、どのjoydayも参加していただいた保護者の皆様の協力があったの成功でした。心より感謝いたします。ありがとうございました。(エンジョイ・JoyDayリーダーA)

✂️ JoyDayコンサート

・・・今回のジョイデーでは、OB保護者の依田さんが主催する「依田バンド」にコンサートをお願いいたしました。プロの方も多数参加されているボランティアの音楽バンドです。メンバーの中には業界でも屈指の方も多くいらっしゃり、依田さんの呼びかけにより、多くの場所でボランティアのコンサートを行なっているようです。今回も、前日夜遅くまで設営、当日は朝6時にメンバーの方が集合されて、熱心にリハーサルを行なわれていました。来年以降も楽しみです(編集長O)・・・

「JoyDayコンサート企画で、演奏させていただきました。」
OB保護者・依田典史(依田バンド主催)

息子が幼稚園年少組から専修高校まで、15年間お世話になり、卒業して作業所に通うようになって、3年目になります。先生方の熱心なご指導や、お友達との暖かい係わり合いによる大変感動的で充実していた息子の学校生活を思い出しながら、コンサートに臨みました。東小学校でのバンド演奏は、エンジョイ(ジョイデーの前身)が始まった、息子が小学校6年生の時から、ほぼ毎年企画していただき、土曜自由登校のプログラムとして行ったり、40周

✂️ K2ダンスリサイタル

・・・去る9月23日に武蔵野市民会館にて、素敵なりサイタルが行なわれました。弊紙(後援会だより)編集長Oもご招待をいただき、観覧させていただきました。その出来は単なる保護者の活動を越えた、素晴らしいものでした。有難うございました。来年も楽しみにしています。・・・

「K2ダンス」
育児の他に自分への目標が欲しい。ダンスを通じて娘とお互いを高め合えたら・・・そんな思いで決めたリサイタルの参加。練習へ

年式典のプログラムに入れていただいたりしながら、今回で8回目となりました。皆様楽しんでいただけるよう、今回も、クイズや大道芸なども組み入れた参加型の仕掛けをしたり、学校生活をモチーフにして作った曲を歌ったりしましたが、そのような仕掛けそのものよりも、聞いてくれる児童や先生、保護者の皆様の声援や各曲ごとの抜群なリアクションでとても盛り上がりました。なにより、小道具を使ったお父さま方のエネルギッシュな演出には感服しました。素敵なお道具製作をしていただいた保護者の皆様にも感謝です。時代が移っても東パワーは不動であることを再認識しました。

今後の依田バンドの活動
11月11日 小平市内のご高齢者の病院である「南台病院」
11月22日小平にある、障害者の施設「澄水園」
平成21年1月12日 ルネ小平にて「小平手をつなぐ親の会」主催の障害者の「成人を祝う会」
2月(日程未確定)スペシャルオリンピックの「スキーアスリート合宿ライブ」等々多くの場所で活躍されています。

は寒風の中も炎天下も片道30分の自転車通い、久美子先生のご指導は、ダンスの技術から表現者としてのあり方に及びます。家では、気恥ずかしさから夫に隠れての自主練や、うたた寝しながらの衣装作り・・・と、舞台への道は想像以上に長いものでした。こうして迎えた本番は、震えるような緊張の中、暖かい声援に感激の涙あり、思いがけないミスに悔し涙あり・・・どの顔も皆感激に溢れていました。共に汗と涙を流したメンバーは、20才から60才代と幅広く、東学園ならではのこの絆があるからこそ、また1年後の舞台を目指しての自転車通いが始まります。(小6MH)

今号はいかがでしたでしょうか?この季節もお子様の色々な表情を見ることが出来るのでしょね。学園祭での楽しい顔、苦手なものを克服できた嬉しい顔。部活動等の練習でみせる頑張った顔、試合での残念な結果に終わったくしゃくしゃの顔、そして勝利の涙顔・・・みんな大きく成長しますね。では次号でお会いしましょう(^_^)(O)

●編集委員会(編集スタッフ)
高等専修 永井 登美子 鈴木 葉子
中学校 上野 清子 阿比留 留美子
小学校 寺島 直美 武田 陽子
幼稚園 千保 久美子 阿久津 ゆかり
高等専修 齋藤 良
中学校 桑原 厚
小学校 家住 隆士 北川 久一郎 大槻 敬



武蔵野東学園
連合後援会だより

武蔵野東学園 連合後援会だより



すっかり秋が深まって来ましたね。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋。皆さんの秋の過ごし方はどのような感じですか?今号は秋にまつわる話を中心にしています。お楽しみください。(O)

幼稚園「母の店」



今年の模擬店は、おでん、そしてsweetsのお店が登場します。100%果汁のジュレ、キャラメルチーズケーキ。是非是非、お楽しみ下さい。ゲームコーナーには、電車の国「ひがしこランド」がオープン。改札も踏切も電車もお母さん達の手作りです。笑顔あふれるゲームコーナーとなるよう準備中です。(年少A 年長M、K)

幼稚園「Let's」



「Let's」これは幼稚園でのお父さん方の活動のことです。お母さん方には、様々な活動を通じて、保護者の立場から幼稚園を支援されていますが、園祭りでは、お母さん方のご協力も頂き、恒例のLet'sのポップコーン屋さんを行います。子ども達の笑顔に接することができる貴重な1日となります。幼稚園後援会長 大野浩司

小学校「母の店」



学園祭の楽しみのひとつ、お母さんのお店。「まずスイーツ」は、売り切れ御免。お宝満載のバザー、おなか大満足の模擬店、今年限定東小オリジナル商品もある卒業ショップ、ビンゴ・東っ子商店・卒業ゲームコーナーで盛り上がる子ども達の様子も必見。学校中を満喫し、楽しく関わるお母さんの笑顔も、お見逃しなく!!(小6RM)

小学校 「お父さんのゲームコーナー」



11月8日小学校学園祭にて、大人気の「お父さんのゲームコーナー」が開店します。「ブリクラ」「スマートボール」「魚雷船」今年新たに「射的」も加わって4つのゲーム。お楽しみみの景品もたくさんそろえてeバル前でお待ちしております!(小3A)

中学校「お母さんのお店」



「お母さんのお店」ではあの美味しかったアップルパイの復活を!の声にお応えしました。クッキーの詰め合わせ、手づくりお菓子にドリップコーヒーで一息どうぞ! 「リサイクルショップ」や「バザー」は毎年大好評!お早目にご来店を!!卒業のお店もお見逃しなく!!(中U)

高専修「紫峯祭」



生徒達が準備に準備を重ね当日を迎える第23回紫峰祭です。学習発表、展示即売会、ショー、模擬店などとても積極的に取り組んでいます。今年はお迎えする心を大切に、ある言葉で皆様をお迎えするそうです。さてその合言葉は・・・
後援会ではそんな紫峰祭を恒例のバザーで応援します。日用品、手作り品など多数のお買い得品をご用意しております。校舎同3階には卒業生が働いている会社や作業所の商品もあります。また1階では毎年鮎のつかみ取りコーナーも開催。ぜひ皆様お越し下さい。(高3N)



特集

読書、スポーツ、芸術の秋

特集「読書、スポーツ、芸術の秋」と言うことで、東学園の専科の先生方に原稿執筆のお願いをいたしました。

最近ではめっきり寒くなって来ましたが、せつかくの機会ですので保護者の皆さんも、お子様と一緒に読書に、スポーツに、芸術にお時間を割いてみてはいかがでしょうか？

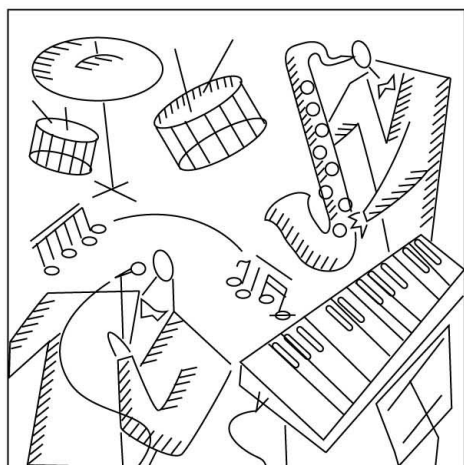
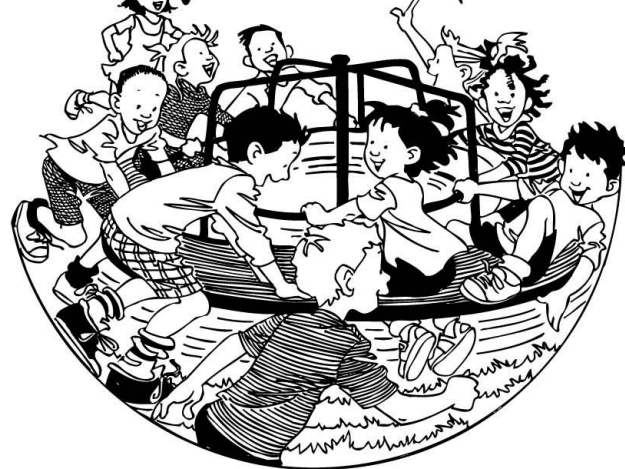
「え…？いつもしています？」それはそれは失礼いたしました。

子ども達の

この時期の子ども達の成長は著しくて、どの子も活発に体を動かして笑顔で遊んでいます。マットや芝生の上で喜んで転がる子、ローラースケートを履いて伸び伸びと滑走する子、縄跳びが少しでも多く跳べるように何度も頑張って練習している子。そんな子ども達の姿はとてかわいくてエネルギーに満ちています。私達教師も子ども達から毎日エネルギーをもらって過ごしています。鬼ごっこや鉄棒遊び、子ども達と一緒に遊んでいると心も体も元気になります。秋は運動に適した気持ちの良い日がたくさんあります。保護者の皆様もお子様と公園や大きな広場に行っておウォーキングにジョギング、ボール遊びなど…子どものエネルギーを感じながら親子で楽しく体を動かしましょう。

幼稚園体育科 年少担当・北原裕久

エネルギー



聴く

日頃から「食欲の秋」「芸術の秋」を唱える音楽科である私にこのようなタイトルでの原稿の依頼が届き、何をかこうかと悩んでおります。さて、インターネットの普及により本屋さんにはみな、閉業してしまうのではないかとさえ言われた時代もありましたが、実際はそんな話はあまり聞きませんし、東っ子も教室などで単行本を読んでいる姿をよく見かけます。保護者の皆さん、この秋をきっかけに、ベートーヴェンやモーツァルトの伝記など、読書に動んでみるのも良いですね。次にスポーツ。ある日の昼休み。数人の子ども達が音楽室にやってきて、Hey Say JUMPの曲に合わせて楽しそうに身体を動かしていました。このように子ども達は日頃から大いに身体を動かしていますので大丈夫だと思いますが、これは知人に聞いた話です。還暦を過ぎたら「太極拳」が長続きもでき、健康維持・ボケ防止に一番なんだそうです。保護者の皆様、数年後(?)には、是非、お試しください。

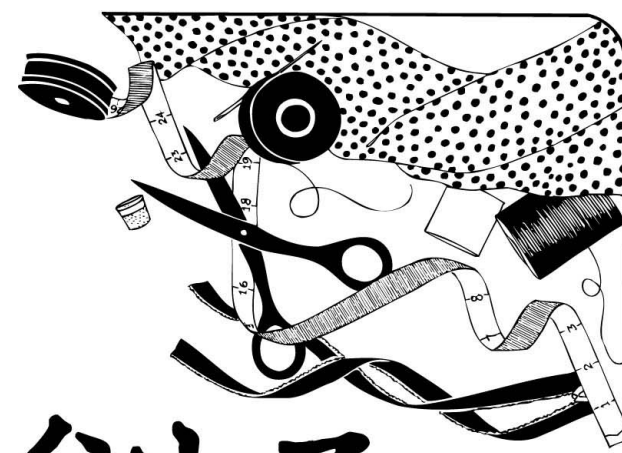
小学校音楽科・西山雅人

秋の風情、食欲の秋



中学校の〈技能・手芸〉では東京国際キルトフェスティバルに作品を応募するようになり3年になります。この時期はキルト展の応募に向け、チクチクと針を進めることが定番になってきました。(今年も一次審査を通過しました。)そんな中キルトフェスティバルの作品集を見て…と今年は中部国際空港のアートキルト展から声をかけて頂きました。現在過去最大の2.5×2mの大きなキルトに挑戦中です。(デザイナーのデザインを形にしています。1年間空港に飾られるそうです。)こちらはA B組にも協力してもらい制作を進めています。同じ時間に布に向き合うことはありません。しかし形になってくるキルトを通じてA～E組の新しい交流が生まれました。作品の完成が近づくとともに「作る」喜びを改めて味わい、芸術の秋を感じます。

中学校 技術・家庭 大澤かおり



作る

読む



秋といえば「○○の秋」と様々に言われますが、司書教諭の私としましては、やはり「読書の秋」を押したいです。私が小学校時代に感動した本を思い返すと、低学年の時は、『子鹿物語』『フランダースの犬』などでした。悲しい話がなぜか心に残っているのです。中学年の時は伝記にはまり、ヘレン・ケラーやキューリー夫人にあこがれました。高学年になると『怪人二十面相』『シャーロック・ホームズ』などの推理ものに夢中になりました。私が昔好きだった本を子ども達が借りていくのを見るのは、とても嬉しいです。長い年月がたっても少しも古びず、感動を与え続けている本。その中には、不思議な生命が宿っているのではないかと感じます。ぜひ一日に何分でもいいのでテレビやゲームの電源を切り、読書タイムを設けてください。また、お母さん・お父さんが小さい頃に好きだった本を子どもに紹介するのもいいですね。ご家庭で本に親しむ機会をこの時期たくさん持ってほしいと思います。では最後にお勧めの本は、脇明子さんの「読む力は生きる力」「物語が生きる力を育てる」(岩波書店)です。

小学校読書・古澤育子